

川辺川アカデミア

# 山と川の勉強会

～山と川のプロが結集！流域の課題と魅力の掘り起こし～



川 辺 川 ア カ デ ミ ア  
KAWABEGAWA ACADEMIA

開催日 2024.11.12 14:00~16:00

# 概要

## 参加者

人吉球磨地域に関わる行政職員等 25名

熊本県 球磨地域振興局  
森林保全課（森林保全班・  
治山第1班・治山第2班）  
林務課（林務班）

熊本県 土木部 河川課

熊本県 球磨川流域復興局（傍聴）

相良村 企画商工課

五木村 産業振興課

人吉市 農林整備課

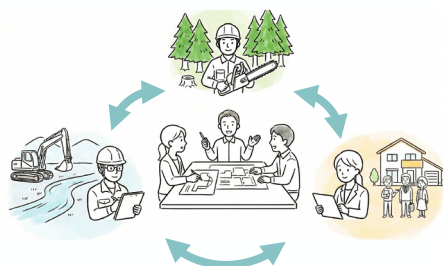
国土交通省川辺川ダム砂防事務所

## 主催

川辺川ダム砂防事務所  
熊本県球磨地域振興局  
熊本県土木部河川課

## 場所

川辺川ダム砂防事務所会議室



## プログラム

| 項目      | 内容   |
|---------|--|
| 開会      | 開会挨拶（熊本県球磨地域振興局 林務課）   |
| 趣旨説明    | 現状の課題の紹介 勉強会の趣旨・展望<br>（国土交通省川辺川ダム砂防事務所）  |
| 事例紹介    | ①“緑の流域治水”の推進に向けた治山事業・砂防事業の取り組み<br>（熊本県土木部河川課）<br>②NDVI(植生指標)を活用したモニタリングについて<br>（国土交通省川辺川ダム砂防事務所）<br>③各種DX事例の紹介<br>（国土交通省川辺川ダム砂防事務所）<br>④森林を活かした地域振興について<br>（熊本県球磨地域振興局 森林保全課、林務課）<br>（国土交通省川辺川ダム砂防事務所） |
| ワークショップ | 自己紹介・アイスブレイク<br>課題や魅力のブレインストーミング<br>アイデア出し・ふりかえり   |
| 閉会      | 今後の進め方・閉会挨拶（熊本県球磨地域振興局 林務課）<br>（国土交通省川辺川ダム砂防事務所）   |

令和6年11月12日、川辺川ダム砂防事務所にて「山と川の勉強会」を開催しました。球磨川・川辺川流域では「緑の流域治水」を推進していますが、森林・砂防・河川など関係機関は多岐にわたります。

今回は、国土交通省、熊本県（球磨地域振興局・土木部河川課）、流域市町村（相良村・五木村・人吉市）から計25名の職員が集結！「顔が見える距離感」で互いの取り組みや山と川の技術の最前線を知り、組織・分野を越えて連携を深める第一歩を踏み出しました！

## Mission

- ・他の(組織の)方の話を聞き  
(関心ごと以外の気付き、知識を得る)
- ・自分なりに考え、考えたことを伝え  
(思考、プレゼン・発信)
- ・多様な方と議論し(コミュニケーション)
- ・協力して行動・実践することにつなげる  
(一歩を踏み出す)



# 【事例紹介 Input】：山と川の最前線の取り組みを知る

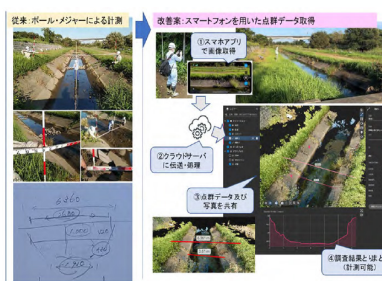
## 川の技術：科学の眼で追う、地形や水質の変化

### ● 濁りの発生源に迫る！（水質調査解析）

「雨の後、川が白く濁るのはなぜ？」令和4年の台風14号以降見られる「濁り」の要因を解明するため、ドローン等を用いた上空からの調査が行われました。その結果、上流の特定の区間における土砂の堆積や侵食の状況を確認。目視だけでなく、地質や地形データと照らし合わせながら、川のメカニズムを科学的に分析しています。

### ● スマホが測量機に？（河川DX）

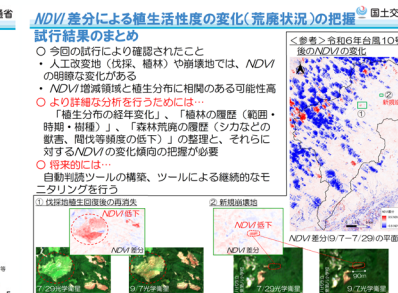
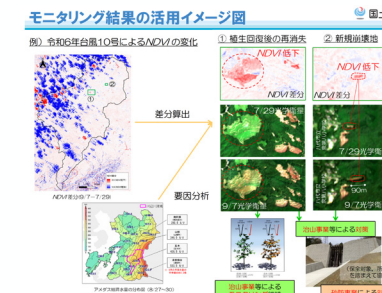
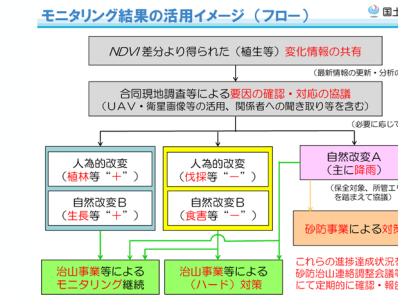
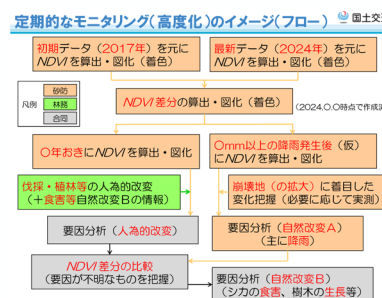
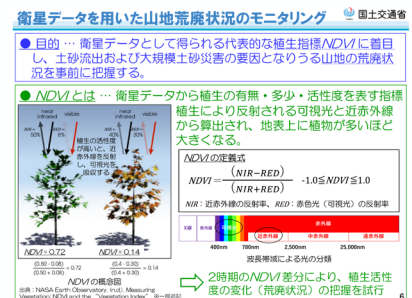
工事や調査の現場も進化しています。紹介されたのは、「スマートフォン」で動画を撮るだけで、現場の地形を3Dデータ（点群データ）化する技術。重い機材を使わずとも、クラウドで瞬時に現場状況を共有したり、3Dデータとゲームエンジンを用いてリアルな地形を再現したり。最新技術（DX）が、迅速な河川管理を支えています。



## 山の技術：宇宙から診察「森の健康診断」

### ● 宇宙から見た「森の顔色」(NDVI植生指標)

広大な山々の木々の健康状態を、人の足だけで調べるのは至難の業。そこで活躍するのが、人工衛星データを使った「NDVI（植生指標）」です。植物が反射する光を分析して「緑の濃さ（元気度）」を色分けして表示。過去のデータと比較することで、伐採や崩壊地だけでなく、地上からは気づきにくい「シカの食害」や「樹木の生長」といった静かな変化まで、宇宙から客観的にモニタリングすることが可能になりました。



# 【事例紹介 Input】：山と川の活かし方・伝え方を知る

## みんなで取り組もう！「緑の流域治水」

### ● 子どもから大人まで（広報・連携の工夫）

・「流域治水」子どもや一般にはなかなか理解が難しい概念や取り組み。それを分かりやすく伝え、流域のみんなで協働する機運を高めるための取組として、熊本県の「緑の流域治水」見える化コンテンツが紹介されました。大人気のご当地キャラ「くまモン」と一緒に楽しく学べる動画や、出前授業など、工夫がいっぱい！また、森林の持つ多面的な機能を守り活用する取組も共有されました。



**熊本県の取組状況**  
「緑の流域治水」の取組み等の見える化(1/2) 71

〇「緑の流域治水」について、球磨川流域住民をはじめ広く県民に情報を発信するための見える化の取組みとして、「緑の流域治水」の取組みを分かりやすく伝える動画や模型、パンフレットを制作。  
また、若い世代にも広く発信するため、新たにSNS(Instagram)の開設や、小学生及び中高生向けの動画を制作。

- 動画**
  - 解説動画
  - 授業用動画
- 立体地図**
- SNS**
- パンフレット**
- ポータルグッズ**
  - ピンバッジ
  - 付箋
- ブース出展** (出前授業連携大会)

## 地域振興：「癒やし」と「デザイン」の力

### ● 砂防堰堤でととのう（インフラツーリズム）

土石流を止めるためのコンクリートの壁「砂防堰堤（さぼうえんてい）」が、まさかの癒やしスポットに？「人工の滝」のような水音と、夏でも涼しい森林環境を活かした「マインドフルネス」インフラ・エコツアーの事例が紹介されました。防災施設を「究極の癒やしの場」と捉え直す逆転の発想に、参加者も興味津々でした。



**砂防堰堤が観光資源に!? ～観光協議会と連携した取組～**

〇人吉・球磨地方での課題「少子高齢化と低収入」に對して、地元の観光協議会が地域の魅力を掘り出し、観光振興の一環として、砂防堰堤の観光資源化に着手。  
〇一歩として砂防堰堤でのマインドフルネス（瞑想・正念）によるストレス軽減や集中力向上の可能性があるツアーを企画。  
【目的】やがて夏（7月15日）【場所】山口谷川砂防堰堤（熊本県球磨郡相良村）  
【概要】砂防堰堤でのマインドフルネス、茶屋での茶会・焼き菓子体験、とうふ店での食事

行政 ↔ 連携 ↔ 地域

相良村内でツアー「砂防堰堤にて正念（瞑想）→電気の音→地蔵のお土産へ」

**砂防事業と森林事業が連携し、魅力を拡大・教育へ活用**

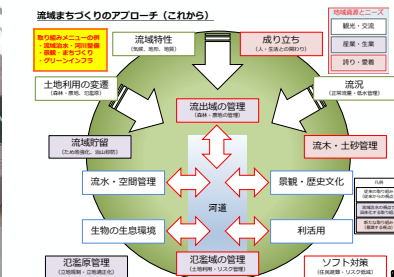
対称：  
・維持管理に必要な道路等の整備、活用  
・観光教育：マインドフルネスの整備  
・子ども向け：マインドフルネスの整備  
・観光教育による地域の改善、森林との連携  
・これらを通じた地域振興と観光の発展  
・情報発信・広報の拡大・連携

安全な遊歩道、マップ（アプリ）、川辺川アカギミュージアム（後）との連携、テキスト・プログラム

案内所設置、観察所、体験施設、観光地、体験活動で活用

### ● 連携・デザインの力（林業ブランディング）

林業の課題・取組や魅力を発信すべく、多様な主体との連携によりブランディングした先進事例（日田・糸島等）を紹介。地元品種ヤブググリによるきこり飯等の上質な製品、若者が集うTHINNING（間伐）テーマのマーケットイベント等の事例が共有されました。

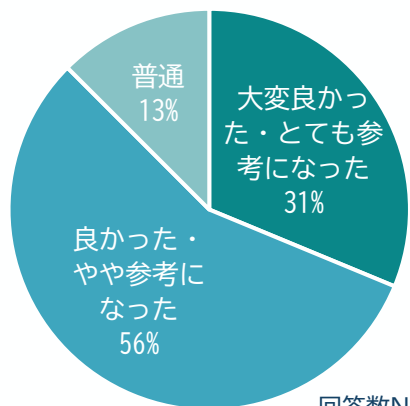




# 参加者の声（アンケート結果）

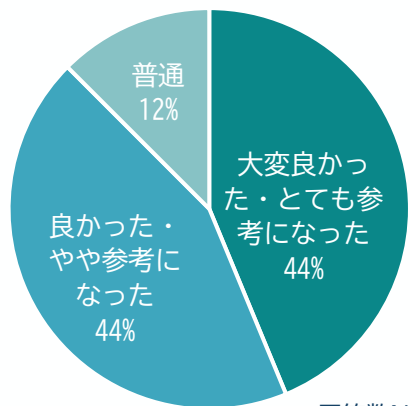
## 勉強会の満足度

勉強会全体について



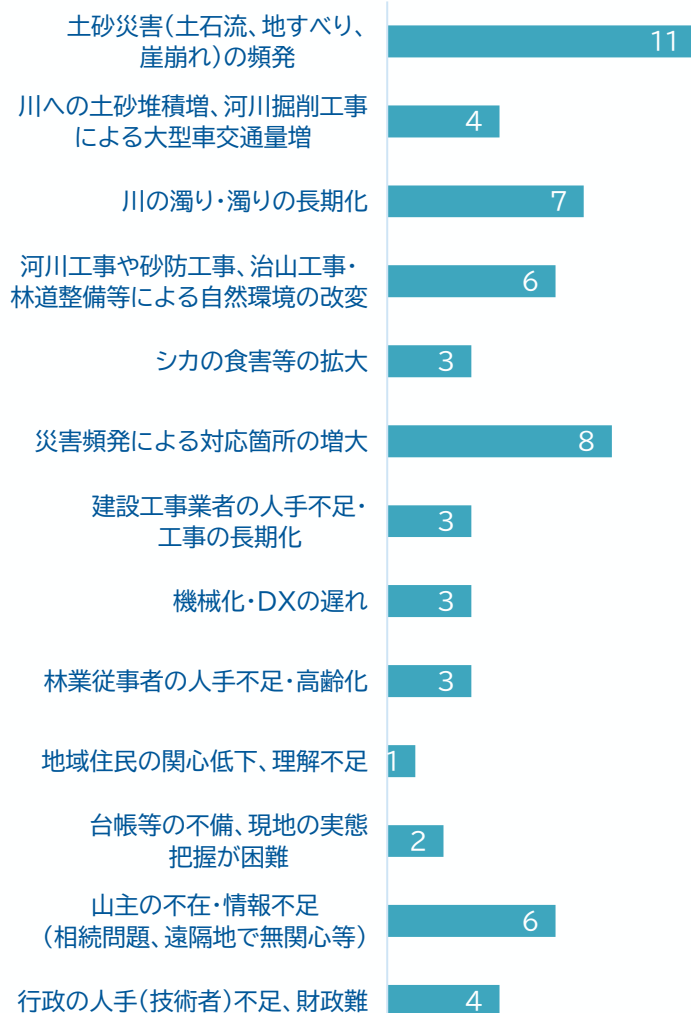
回答数N=16

ワークショップについて



回答数N=16

## 課題や気になっていること



回答数N=16(複数選択可)

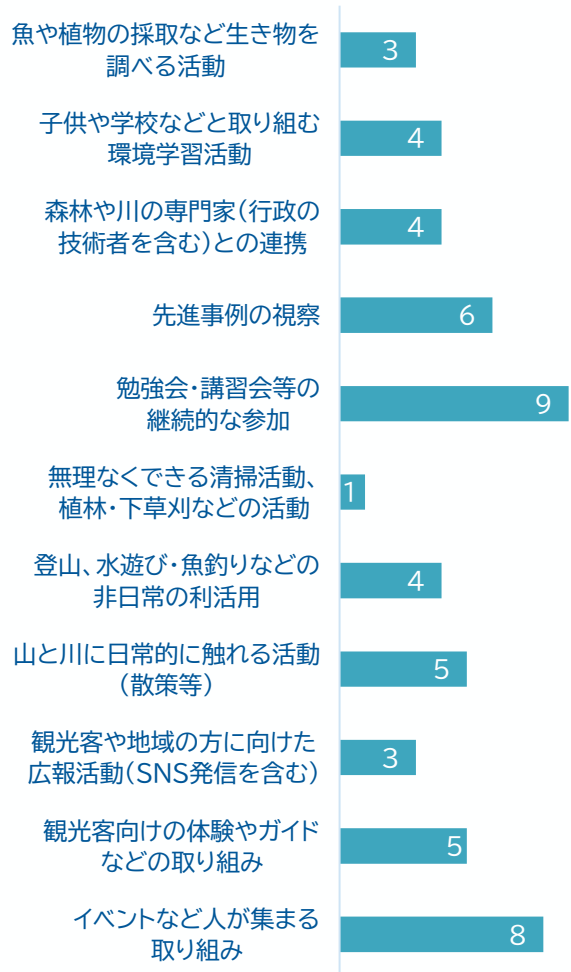
## 解決に必要な施策・技術、先進事例や知りたい情報



回答数N=16(複数選択可)

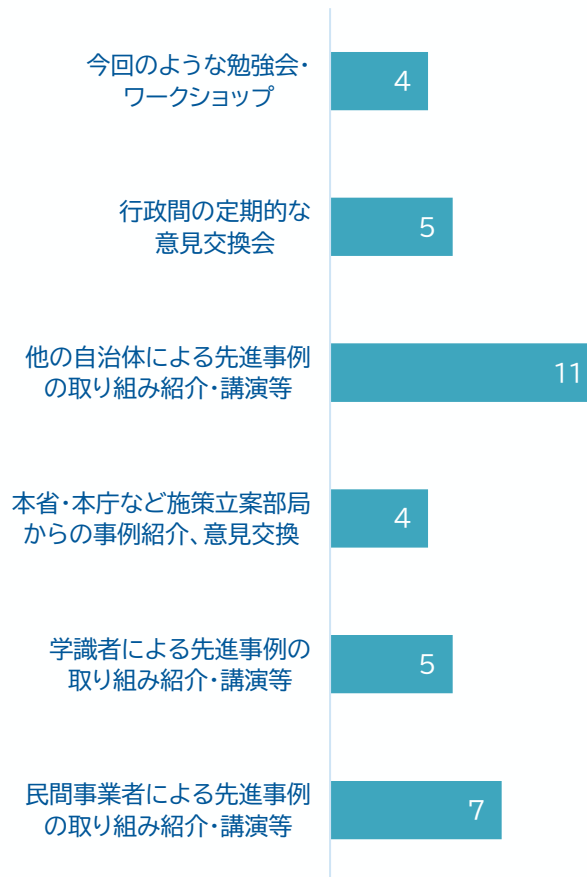
# 参加者の声（アンケート結果）

## 勉強会に参加して気になったこと 取り組みたいと思ったこと



回答数N=16(複数選択可)

## 今後の勉強会などの企画アイデア



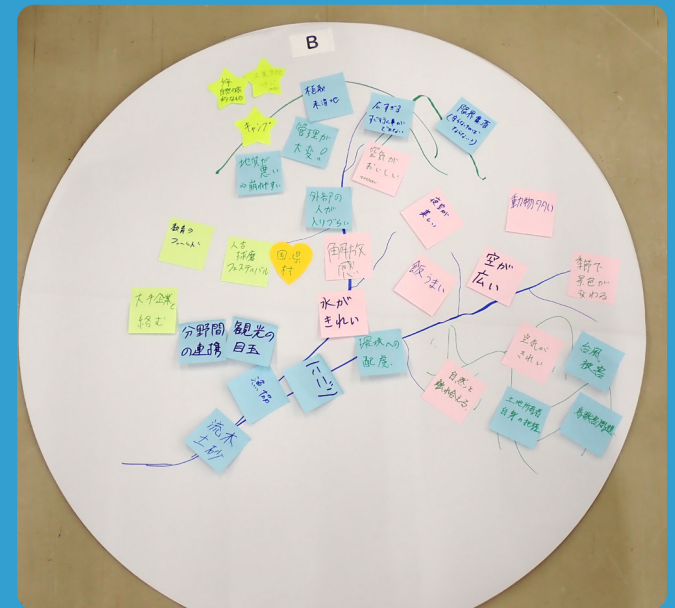
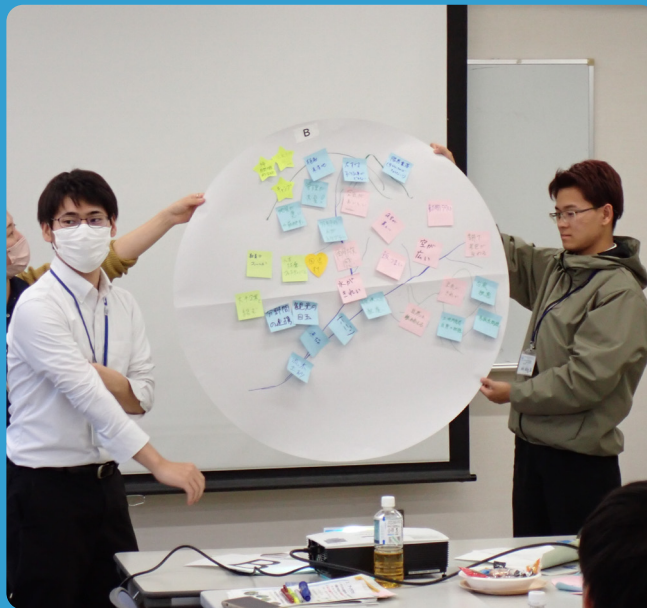
回答数N=16(複数選択可)

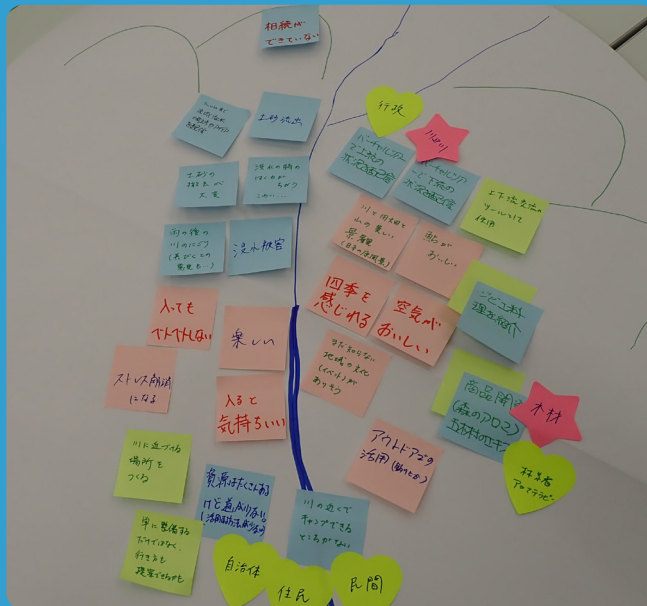
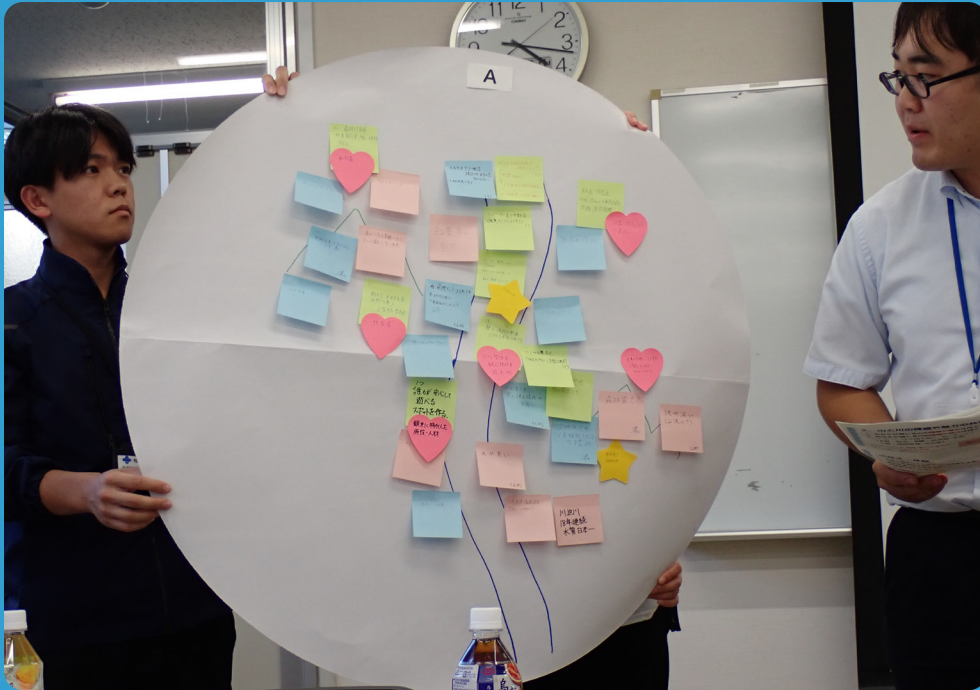
## 今後行ってみたい場所・してみたいこと

- 他の地方の取り組みも体験したい
- 万江川の取り組みの視察
- 現場体験ツアー
- 地域振興の現場、ジビエ加工
- 景色が綺麗とよく言われるが実際に車を止めてじっくりと景色を見たことがないので、1度自分で体験してみます。
- 関係機関との連携強化
- 地元住民を置き去りにしない河川整備をしたいと思います。
- ダムができていままの水質を保つこと

## 参加者の感想・意見

- 近くにいても知らなかった、他部署の取り組みを知ることができてよかったです。
- まずは行政間でこのような場が継続できればよく、この動きをもっと身近な住民(特に子供たち)に広げられればいいなと思いました。
- 現在の山の荒廃状況に関する客観的な評価や森林整備の現状など、林務部門の取り組みなどを知る機会になればと思った。流域治水の関係者が様々な機会を得て、取り組みや情報を共有し、連携していければと思う。
- ジビエ 企業誘致などの座談会の開催
- せっかく写真も飾っていらったので、眺める時間があればもっとイメージも膨らんだかもしれないと思いました。





## 川辺川アカデミア 仲間募集中！

川辺川アカデミアは、川辺川の豊かな自然を資源に様々な学びへ活かす取り組みです。

あなたも一緒に取り組んでみませんか？

性別・年齢問わず、色々なジャンルの先生・生徒を募集しています。

また、地域のみなさんと自然環境を活かす取組などのコラボも行っていきます。

ぜひお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

国土交通省川辺川ダム砂防事務所(とりあえず)

